～使ってベスト！しっかりガード！～

殺虫剤

ベストガード® 粒剤

アブラムシ・コナジラミ・アザミウマ
などの難防除害虫に


アブラムシ類（ワタアブラムシ）


タバココナジラミ


ミナミキイロアザミウマ


マメハモグリバエ

幅広い時期（は種時、鉢上げ時、育苗期、定植時）に使用できます。

※トマト・ミニトマト・なす・きゅうりのアブラムシ類

適用拡大 ●いちご（クロバネキノコバエ類／株元散布）等

は種時または鉢上げ時に!!〈育苗培土混和〉
なす、トマト、ミニトマト、きゅうり など

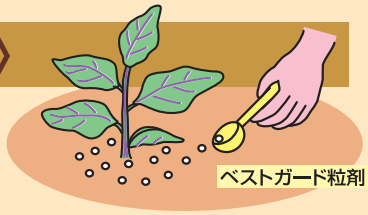
育苗期に!!〈株元に処理〉
なす、トマト、ミニトマト、きゅうり、
いちご、レタス など



定植時に!!〈植穴に処理〉
なす、トマト、ミニトマト、きゅうり、
すいか、ピーマン、ブロッコリー など



生育期に!!〈株元に処理〉
なす、しゅんぎく、
いちご、花き類 など



特長
- 長期間効果が持続
- 作物への安全性が高い
- いやな臭いがない



農林水産省登録 第19103号
ベストガードは住友化学（株）の登録商標

殺虫剤 ベストガード® 粒剤

殺虫剤分類 4A

●ニテンピラム：1.0%

農林水産省登録 第19103号

■適用と使用方法

2026年9月現在の登録内容（太字は2026年9月9日適用拡大）

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	ニテンピラムを含む農薬の総使用回数	使用方法
きゅうり	コナジラミ類、アブラムシ類、アザミウマ類	5g/培土ℓ	は種時	1回	※②	育苗培土混和
			鉢上げ時			株元処理
	アブラムシ類、コナジラミ類	1g/株	育苗期			株元処理
	アブラムシ類、コナジラミ類、アザミウマ類	1～2g/株	定植時			植穴処理土壌混和
なす	アブラムシ類	5g/培土ℓ	は種時又は鉢上げ時	1回	※②	育苗培土混和
	アブラムシ類、コナジラミ類	1g/株	育苗期			株元処理
		※①	育苗期後半			散布
	アブラムシ類、コナジラミ類、**アザミウマ類**	1～2g/株	定植時			植穴処理土壌混和
	アブラムシ類	2g/株	収穫前日まで	3回以内		生育期株元散布
トマト ミニトマト	アブラムシ類、コナジラミ類	5g/培土ℓ	は種時又は鉢上げ時	1回	※②	育苗培土混和
		1～2g/株	育苗期			株元処理
	アブラムシ類、コナジラミ類、ハモグリバエ類	※①	育苗期後半			散布
	アブラムシ類、コナジラミ類	1～2g/株	定植時			植穴処理土壌混和
	ハモグリバエ類	2g/株				
すいか	**アザミウマ類**	1～2g/株	定植時	1回	※②	植穴処理土壌混和
	アブラムシ類、コナジラミ類	1g/株	育苗期			株元処理
ピーマン	アブラムシ類、コナジラミ類	1～2g/株	定植時			植穴処理土壌混和
	コナジラミ類					
ししとう	アブラムシ類、ミナミキイロアザミウマ					
	アブラムシ類、コナジラミ類	1g/株	育苗期			株元処理
とうがらし類（ししとうを除く）	アブラムシ類、ミナミキイロアザミウマ	1～2g/株	定植時	1回	※②	植穴処理土壌混和
メロン	アブラムシ類、コナジラミ類	1g/株	育苗期			株元処理
	アザミウマ類	1～2g/株	定植時		1回	植穴処理土壌混和
ズッキーニ	アザミウマ類					
うり類（漬物用）	アブラムシ類					
いちご	**クロバネキノコバエ類**	1～2g/株	収穫前日まで	3回以内	※③	**株元散布**
	アブラムシ類	1g/株	定植時	1回		植穴処理土壌混和
カリフラワー	アブラムシ類、アザミウマ類	※①	育苗期後半		※⑤	散布
ブロッコリー		1g/株	定植時			植穴処理土壌混和
ねぎ	**アザミウマ類**	セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊（30×60cm、使用土壌約3～4ℓ）当り50g	育苗期後半～定植当日	1回	※②	散布
		6kg/10a	は種時			作条処理土壌混和
	クロバネキノコバエ類		定植時			植溝処理土壌混和
	アザミウマ類、ハモグリバエ類		収穫前日まで	3回以内		株元処理
		5g/培土ℓ	は種時	1回		育苗培土混和
わけぎ、あさつき	**ハモグリバエ類**	6kg/10a	定植時	1回	1回	植溝処理土壌混和
しゅんぎく	アブラムシ類、コナジラミ類、**ハモグリバエ類**	9kg/10a	収穫3日前まで		※④	生育期株元処理
レタス	ナモグリバエ	10g/培土ℓ	は種時		※②	育苗培土混和
		0.5～1g/株	育苗期後半			株元処理
	アブラムシ類	※①				散布
すいぜんじな	アブラムシ類、アザミウマ類 ハモグリバエ類	9kg/10a	定植時		※④	植溝処理土壌混和
			収穫3日前まで			生育期株元処理
ばれいしょ	アブラムシ類	3kg/10a	植付時		※⑦	植溝処理土壌混和
食用ぎく	アブラムシ類、ミカンキイロアザミウマ、マメハモグリバエ	2g/株	収穫前日まで	2回以内	※⑥	生育期株元散布
きく	ミカンキイロアザミウマ、マメハモグリバエ	2g/株	発生初期	4回以内	4回以内	生育期株元散布
	アブラムシ類	1～2g/株				
きんせんか	マメハモグリバエ	2g/株				
	アブラムシ類	1～2g/株				
花き類・観葉植物（きく、きんせんかを除く）		3～5g/培土ℓ	定植前	1回		培土混和
		1～2g/株	発生初期	4回以内		生育期株元散布

※①：セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊（30×60cm、使用土壌約1.5～4ℓ）当り50g
※②：4回以内（定植時までの処理は1回以内、定植後は3回以内）
※③：4回以内（定植時の土壌混和は1回以内、株元散布及び散布は合計3回以内）
※④：2回以内（定植時の土壌混和は1回以内、株元処理は1回以内）
※⑤：5回以内（育苗期は1回以内、定植時は1回以内、定植後は3回以内）
※⑥：4回以内（株元散布は2回以内、散布は2回以内）
※⑦：5回以内（植付時までの処理は1回以内、植付後は4回以内）

■使用上の注意事項

●使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
●カラー及び花はすに使用する場合は、湿水状態で使用しないでください。また、使用後14日間は入水しないでください。
●蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
●マルハナバチに影響を及ぼすおそれがあるので注意してください。
●ミツバチに対して影響があるので、ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。
●適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
●本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
●散布の際は必ず農薬用マスクなどを着用し、作業後はうがいをしてください。
●直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。
●水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
●散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

取扱い

2609SC/ZS7BGG

サンケイ化学株式会社
本　　社　〒891-0122　鹿児島県鹿児島市南栄2丁目9
宮崎事務所　〒880-0056　宮崎県宮崎市神宮東3-6-19